

協会から市民の皆様へ

雪対策事業は、冬の市民生活を守るためになくてはならないものです。しかし、雪対策を取り巻く社会環境は大きく変化しており、様々な課題を抱えています。それを克服し、乗り越えていくためには、市民の皆さまのご理解とご協力を頂かなくてはなりません。

除雪で困っていること

◆除雪作業の効率が落ち作業が遅れます **路上駐車はやめましょう**

- 車を車庫や敷地内に入れず路上に駐車されると、車を傷つけないように避けて除雪を行わなければならない、走行スピードが落ち作業の遅れにつながります。また、蛇行することにより雪山が左右不均等の原因にもなります。
- 駐車場や屋根から道路へ雪出しをされますと、路面がザクザクやデコボコになることや、除雪により広げた道路幅が狭くなります。

◆かき分けた雪の置き場が減っています **玄関前の雪処理はご家庭で**

- 新雪除雪は、雪を左右にかき分けるため、玄関や車庫前に寄せられた雪の処理は、各ご家庭のご協力をお願いします。
- かき分けた雪を置くような空き地も減っており、ロードヒーティングや民間排雪により雪処理した場所にも雪を置いていきます。

排雪で困っていること

◆排雪作業の効果がすぐになくなります **道路への雪出しはやめましょう**

- 排雪した場所に雪出しをされると、せっかく広がった道幅が狭くなります。
- 交差点排雪を行った箇所に雪出しをされると、せっかく見通しが良くなっても、すぐに見通しが悪くなります。

◆雪堆積場が遠くなっており作業効率が落ちています

- 雪堆積場には、札幌市（行政）が確保しているものと、業者（民間）が確保しているものがあります。どちらも郊外にあります。排雪ダンプトラックが1月から3月上旬まで頻繁に走ることもあり迷惑施設として扱われ、また、住宅地も郊外に広がっていることもあり、確保が難しい状況です。

札幌市除雪事業協会だより

発行／札幌市除雪事業協会 〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目2番地 北海道経済センター5階（札幌中小建設業協会内）TEL251-3166 FAX251-7740



大雪時の対策強化 に向けて

札幌市
市長 秋元 克広

札幌市除雪事業協会の会員の皆様におかれましては、日頃から札幌市の冬の暮らしを支える本市の雪対策に変わらぬご尽力とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和3年度の冬は、短時間に集中して降雪が発生するという、想定を大きく超える大雪に見舞われ市内各地での渋滞発生や生活道路除排雪の遅れなど、市民生活に影響が及ぶなか、協会の皆様による昼夜を問わない懸命な除排雪作業に加え、雪堆積場の緊急開設や除排雪作業の他地域への応援など、多大なるご尽力を賜りましたことにつきまして、この場をお借りしまして、心より感謝申し上げます。

この大雪を受けて、札幌市では、今年度大雪対策検討会議を設け、貴協会をはじめ関係機関・関係団体などと議論を重ね、令和4年度以降の大雪時の対策を取りまとめたところです。今後、昨冬のような大雪となった場合、市民生活や社会経済活動への影響を最小限にとどめられるよう、一層の対応が求められておりますので、協会会員の皆様におかれましては、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

今後とも市民一人一人が安心して暮らせるよう「安全・安心で持続可能な冬の道路環境の実現」を目指して、協会の皆様とより一層の連携強化を図りながら、効果的かつ効率的な雪対策を推進してまいりたいと考えております。

最後になりますが、札幌市除雪事業協会の今後のますますのご発展と会員皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます、ご挨拶といたします。



市民生活に大きな 影響を及ぼさない 除排雪を

札幌市除雪事業協会
会長 宮浦 征宏

今年もまもなく冬を迎え、本格的な除排雪作業が行われる季節となりました。札幌市除雪事業協会では、除雪シーズンを迎えるにあたり、今冬も除雪事業における作業を安全にやり遂げる決意を表明いたします。また、除排雪作業について、関係各位並びに市民の皆様にご協力をお願いし、皆様とともに安全・安心な冬の道路環境を確保していく決意であります。

さて、昨シーズンを振り返りますと、短期間に集中したドカ雪に見舞われるなど、これまでに経験したことがない厳しい気象状況でありました。当協会設立から30年を迎えましたが、これまでも、一部の地域において、大雪による区を跨いでの除排雪作業の応援はありましたが、札幌市全域が大雪に見舞われ、昼夜を問わずの懸命な除排雪作業にもかかわらず、除排雪作業が追いつかず、市民の皆様にご不便をおかけしたシーズンは初めてでありました。このような状況の中、関係各位のご指導と市民の皆様のご協力、そして協会会員企業の努力等により、何とか乗りきることができました。協会としては、昨冬の経験も踏まえ、今後より一層会員企業間の連携を高め札幌市のご指導の下、市民生活に大きな影響を及ぼさないよう安全で迅速な除排雪作業を行ってまいります。これから本格的な除雪シーズンに入りますが、市民・行政・企業の三者の連帯をより一層強め、それぞれが担う雪対策の役割を再度確認してまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びとなりますが、無事故・ゼロ災害を目指し、今冬の除排雪作業の安全、並びに関係各位のご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

2022年 協会のできごと

■道路維持主任者会議(2022年4月15日)

札幌市民交流プラザの会議室で開催しました。役員8名、道路維持技術主任者20名が出席し、事前に提出していただいた「改善要望事項・意見等」をもとに意見交換を行いました。道路パトロール、働き方改革、動物の死骸処理などについて、活発な議論がされました。この会議で出た意見を参考に札幌市への要望等が取りまとめられました。



■除雪センター長会議(2022年5月16日)

札幌市民交流プラザの会議室で開催しました。役員11名、除雪センター長18名が出席し、事前に提出していただいた「改善要望事項・意見等」をもとに意見交換を行いました。ダンプトラックの確保、交通誘導員の実態に応じた積算などについて、意見や要望がだされました。この会議で出た意見を参考に札幌市への要望等が取りまとめられました。



■代表者懇談会(2022年6月17日)

札幌市民交流プラザ3階クリエイティブスタジオで代表者懇談会を開催しました。

来賓として、秋元札幌市長・天野建設局長のご臨席をいただき、札幌市から、雪対策室長・課長・係長、道路維持課長・係長、道路管理課長・係長の11名の方に出席していただきました。

意見交換を始める前に、秋元市長と宮浦会長とで10分程度フリーストーキングをしました。

宮浦会長から「これまで毎年懇談会意見交換を行い、要望書を提出しているが、除雪に関して少しずつ改善していただいている」と感謝を表し、秋元市長から「今後も要望をお聞きした上で、その対応について検討し回答させていただきたい」と述べられました。

秋元市長退席後、意見交換に入り、除雪事業に関する要望8項目を花釜副会長が読み上げ、井上雪対策室事業課長より回答を頂きました。次に道路維持管理に関する要望4項目を花釜副会長が読み上げ、河井道路管理課長より回答を頂きました。

その後、会場の会員から要望事項以外の2項目について質疑応答があり、約1時間程度で閉会しました。



■定期総会(2022年7月29日)

札幌グランドホテルで定期総会を開催しました。総会では、まず宮浦会長が挨拶に立ち「皆さんが一堂に会して定期総会を行うのは、3年振りの開催となりました。令和3年度は、コロナ禍においても、できるだけ計画した事業を行うよう務めてきたが、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、記録的な大雪により事業が思うように実施できませんでした。ここ数年は、会員同士が顔を合わせての意見交換が出来なかったこともあり、令和3年度から、会員向けに会報を定期的に発行し、会員への情報提供・情報共有に努めました。また、ホームページを開設し市民などへの情報発信も行えるようにしました。道路維持及び除雪事業については、市民の要望も多種多様化していることもあり、これからますます会員相互の連携が重要になってくる。これからも会員の皆様のご協力をお願いします。」と挨拶しました。続いて、林副会長の進行により、三鍋副会長が議長に選出され議事に入り、令和3年度事業報告、収支決算及び監査結果などが報告され、そのあと令和4年度事業計画案、収支予算案などが上程され、審議の結果承認され、閉会となりました。



■協会創立30周年記念祝賀会(2022年7月29日)

札幌グランドホテルで令和4年度定期総会終了後、創立30周年記念祝賀会が開かれ、会員一同が、当会のさらなる発展への誓いを新たにしました。

祝賀会には会員のほか、来賓として札幌市より秋元克広市長、吉岡亨副市長、天野周治建設局長ら市幹部、協会からは乳井文夫前会長、内沼勝前副会長にご臨席いただき総勢150名余りの宴となりました。

宮浦会長は挨拶の中で除雪事業を振り返り、「令和4年に市制100年を迎えた札幌市の発展とともに除雪事業も歩んできた」などと協会設立から30年の歴史を振り返りました。これまで、関係各位のご指導、ご協力や会員企業の努力により様々な困難を乗り越えてきた。今後も、会員一同これまで以上に連携を深め、市民の信頼を得られるようまい進する」との決意を述べました。

秋元市長は祝辞で「除雪事業協会の皆さんには、札幌市の安全・安心、経済を支えていただき感謝いたします」「昨冬の大雪時の昼夜問わない作業に感謝し、皆さんの力を借りながら、札幌市がよりよい街になるため一緒に取り組みたい」と述べられました。

このあと功労者表彰が行われ、永年にわたって協会運営に貢献した乳井文夫前会長に宮浦会長から感謝状と記念品が贈呈されました。そのあと宴は進みまして、祝賀会の締めには、三鍋副会長が壇上に立ち、会場の皆さんに出席のお礼と「これからも先人たちが築き上げてきたものを引き継ぎ、さらなる未来に向かって会員相互の連携を深め、札幌市民の安全・安心な生活を守っていく」と力強く誓い、「一本締め」で、祝賀会はお開きとなりました。

